

『人生を変える3つの御言葉』

2020.02.16. (新約聖書：第一テサロニケ5章16節～18節)

さて、神の御言葉を見て行きましょう。第一テサロニケ5章16節から18節です。私たちは先週、15節までやり遂げました。まだ開いていない方がいれば、この箇所を開いてください。そして、もし可能ならば、お立ち下さい。難しければ大丈夫です。座ったままで大丈夫です。私が読むのについて読んでください。私たちは3節だけ読みます。基本的には1文ですが、3節です。16節、聖霊によって、パウロがこう書いています。

テサロニケ人への手紙 第一 5章

16 いつも喜んでいなさい。

17 絶えず祈りなさい。

18 すべてのことにおいて感謝しなさい。これがキリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

これは、このままでかなり明白ですよ？祈りで締めくくるべきでしょうか？祈りで始めるのはどうでしょうか？一緒に祈りましょう。

主よ、ありがとうございます。主よ、あなたの御言葉に感謝します。そして、今朝、あなたの御言葉の中で私たちの前にあるこの箇所を感謝します。主よ、あなただけが御出来になる方法で、あなたがたいつもご忠実であられるように、私たちの心を静め、私たちの思いを落ち着かせてください。聖霊によって、私たちが細心の注意を向けられるようにして下さい。そうして、あなたが私たちの人生に語り、私たちに働きかけてくださいますように。主よ、私たちの気をそらすものを遠ざけて下さい。なぜなら、

私たちはあなたが私たちのためにご用意されているものを見逃したくないからです。

私たちはこれをお願いします。イエスの御名によって、アーメン。アーメン。

どうぞお座りください。ありがとうございます。今日の説教で選んだ題名は、「人生を変える3節」皆さん気に入りましたか？皆さん仰るのは、これって決まり文句のようですよ？「人生を変える節」「牧師さん、本当に？」それが、あなたが思いつくことができる最高のものですか？—はい。私はそれがやや決まり文句に聞こえることは分かっていますが、しかし真実は？この3節は、もし応用するなら、私たちの人生を力強く変えることができるのです。そしてつまり、力強い方法なのです。私はそれをさらに一歩進め、こう言います。この3節は、私たちの人生の生き方を変えることができるだけでなく、これは、キリスト・イエスにおいて、私たちの人生への神の御心です。あなたは神の御心が何であるかを知りたいですか？私が牧師として最も頻繁に尋ねられる質問の一つは、「牧師さん。私の人生において神の御心が何であるか、どうすれば分かりますか？」ああ、ここですよ。第一テサロニケ5章16-18節。この3節、これが神の御心です。私たちがいつも喜ぶこと、絶えず祈り、そして、いつも感謝することです。それが、私が今日話したいことです。この3つの人生を変える節は、「内なる人生のための原則」と呼ばれています。クリスチャンの教会の永続の任務です。そして、私のお気に入り、ダイヤモンドは、その高いレベルでクリスチャンの経験を低下します。たった3節の中に、いっぱい詰め込まれているのです。なので、皆さんがお許しくださるなら、私がしたいこととは、この3つの節を見てください。そうすることで、聖霊が力強い変化の真理を語られるのを許可してください。それは、この3節を通して、私たちの人生の中に入ってくる事が出来るものです。

初めに、16 節から始めましょう。それはまさに、私は理由があって、このように言うことを選びました。「絶え間ない喜び」絶え間ない喜び、弱まることのない喜び。テサロニケのクリスチャンが大きな苦しみを抱えていたことを理解するのは重要です。絶え間ない迫害の圧力の下で。パウロ自身、迫害について一つか二つ知っていました。そして、ここで彼は、いつも喜ぶことを彼らに励ましています。苦難にもかかわらず、迫害にもかかわらず、試練にもかかわらず、困難、痛みと苦しみにもかかわらず。さて、疑問は、「どうやって？」何があったとしてもいつも喜ぶのはどうすれば可能なのでしょう？私たちの周りで何が起これども、常に喜び、絶え間なく喜びを感じる？さらに悪い事が起これども？そして、その答えはヤコブ 1 章を見れば、一目瞭然です。2 節から 3 節を読ませてください。聖霊によってヤコブはこう書いています。

「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。」

(ヤコブ 1:2)

本当に？私はそれを「この上もない喜び」と考えるのですか！？私が、試練や迫害、苦難、困難を経験したときに？「はい！」どのように祈って、私はそれをこの上ない喜びと考えられるのか？「ああ、聞いてくださってありがとうございます！」皆さん、聞きましたね？なぜなら、ヤコブが私たちのためにそれに答えるからです。これがその方法だと、彼はこう言っています。「あなたがたが知っているとおりの…」私はこのことばに下線を引きました。皆さんの聖書にも同じく線を引きたいと思うかも知れません。なぜなら、これが鍵だからです。これは、あなたは望んで、あなたが思って、あなたが願って、あなたが信じて…ではありません。違います。

「あなたがたが知っているとおりに、信仰が試されると、忍耐が生じます。」

(ヤコブ 1:3)

そして、4節はとても面白いです。なぜならヤコブは「忍耐を働かせなさい」と言っているからです。興味深いです。他にもっと良い言葉がないのですが…ほのめかしているのは…私たちが忍耐を完全に働かせていないということです。私たちはそれと戦うのです。「働かせる」代わりに。「忍耐を働かせる」あなたがその試練にいるとき、あなたがその苦難を経験しているときに、

「その忍耐を（苦難の中で生み出されている忍耐）を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。」

(ヤコブ 1:4)

私は個人的な、私自身の経験から皆さんに共有したいと思います。困難の中での、喜びの経験を。私が気づかなくてはならず、神が私に働きかけてくださったことの一つはこれでした。それは、喜びは幸せとは全然違うということです。幸せは、あなたの人生の物事が上手く行っているかに基づいています。ちなみに「幸せ/happy」という言葉は「偶然/happenstance」から来ています。こういう事です。物事がうまくいっているときだけ私が幸せなら？さて、皆さんが私同様なら私は毎日2分間だけ幸せなのですか？もしそうなら、良い日になる？なぜなら、もし幸せが私の人生でうまくいっていることに基づいているなら？そしたら、私はあまり幸せではありません。喜びは幸せとは大きく異なります。喜びは内側からです。幸せは外側です。幸せは外向き、喜びは内向きです。主と共に歩む中で、私が学んでいる事の一つは、主の喜びを体験できるということです。主において何が起ころうとも。そして、それは主においてだ

からです。そして、その喜びは、イエス・キリストの従者、信者として私たちにのみ、可能なのです。そして、それはこの2つ目の17節へと結びついています。それは「絶えず、祈り続けること」です。質問です。聞いてください。もし私が、この17節についてこう言ったら？ そんなにも根本的にあなたの祈りの生活を変えることができるのか？ 皆さんその方法を知りたいですか？ ええ、私は答えるつもりですが、皆さんは何と仰いますか？ 「いいえ、私は、本当はその方法を知りたくありません。」とか？ その方法を知りたくない人は私たちの中に一人もいないと思います。私たちはより良い祈りの生活が可能なのです。いいですか？ 絶えず祈るための”方法”に対する答えは、祈りとは、行動の複雑さから態度の単純化へと変わらなければなりません。もう一度同じことを言わせてください。私たちは複雑な祈りをしませんか？ なんといいましょう。私は少し前のことを思い出して…私は、「祈りの人になりたい」と神に祈りました。だから、私は外に出て、祈りについての本をすべて買いました。…それは何の問題もありません。E.M.バウンズの本の1つでした。それはとても分厚かったです。それは、ただただとても分厚いのです。私は頭の中で、「なんてことだ…よし、私はこの祈りの本を読むぞ！」 そしたら、私はより良い祈りの生活が出来ると。なぜなら、私はより良い祈りの生活をしたいからです。そして、聖霊は、主だけができるように、本当に小さな声でこう仰ったのです。「何してるの？」 「私は祈りに関するこの本を読むのです！」 主はこう仰ったようでした。「あなたはその祈りの本を読む代わりに、出来ることが分かるか？」 「あなたはただ祈ることができる。」 この祈りに関する本を読むのにかかる時間は？ 繰り返しますが、それは何も問題ありません。しかし、この祈りの本を読むのにかかる時間は？ ああ、なんといいことですか。あなた

はただ祈れるのです。ところで、祈ることがどれほど簡単か知っていますか？あなたは祈りが何であるかを知っていますか？それは神に話すことです。何年も前に、本土で聞いた話を思い出します。このカップルは、妻が夫のところに来てこう言うのです。

「ハニー、私たちは祈る必要がある。」夫が言ったのは、「それはそんなに悪いことなの？」祈りが最初の反応の代わりに最後の手段であるかのように。さて、この場合の妻は、祈りに関しては、しばしば霊的指導者です。そして男性方、私たちは恥を知らなければなりません。それは決してあってはならない。私たちの妻が私たちの元にきて、決してこう言うべきではありません。「ねえ、ハニー、私たちは祈る必要があるわ。」いいえ、それは逆であるべきです。夫が妻に、霊的指導者として「祈る必要がある」と言う必要があります。そして、妻は「私から始める」と言います。そして、彼女はこの祈りに始まり、「全能の神、天と地の創造主…！」「そして海とその中の全てが、あなたの中にあるのです。」リバーブ、キングジェームズ、つまり、上記の全てです。そして、彼女はただ続けます。それは雄弁で、ただただ壮大だったのです。そして、彼女は祈り終わりました。彼女の夫は、「ああ、なんということか。今度は私の番か…」みたいな感じでした。彼はこのように祈ります。「ああ、神様。私は彼女が今何を言ったのか分かりませんが、…」彼はただ神に話しかけたのです。ただ、神に話してください。私はこれが愚かなたとえだと分かっていますが…しかし、私は"おろかさ"の贈物があります。私たちの携帯電話がありますね？私たちはこうしてスマホを持ちますね。もちろん今は、私たちはエアポッズを持っていますが。しかし、イヤホンとマイク、それが祈りです。マイクは私たちが神へ話し、イヤホンは神が私たちに話されます。彼の御言葉を通して。祈りは、対話であり、独り言は必要ではない

とされています。何が本当に私を助け、私の祈りの人生を根本的に変えたのか？それは、私がとても複雑な祈りをしていたことに気づいたことです。私はそれを活動にしまい、そうすることで、それは面倒な仕事になったのです。それは「したい」ではなく、「しなければならない」というものでした。そして、私が気づくまでは、「ちょっとまって、やめなさい！」それは行動ではありません。それは姿勢なのです。祈りの姿勢。言葉遊びを許していただきたいですが、イエスは「態度を行う」ではなく「態度になる」ことを教えられました。私はそれが言葉遊びであることを分かっていますが、その態度になることです。言い換えれば、それは祈りの姿勢です。「姿勢/態度/attitude」を定義させてください。私は実際にネットで調べました。なぜなら、私が態度という言葉を使うとき、皆さんの心に何が浮かびますか？私は自分の心に何が思い浮かんだか分かっています。「彼らは態度がでかい。」しかし、それは私がここで話している態度ではありません。いいですか？態度は、「落ち着いた考え方」として定義することができます。誰かや何かについての考え方や気持ちが落ち着くこと。通常、人の振る舞い(behavior)に反映されるもの。「する/do-havoir」ではなく「なる/be-havior」それは安定した考え方です。さて、あなたが行動の場から祈りを取り、そして、態度の傘の下に置くなら、それはすべてを変えます。だから、今や、私はいつも祈ることができるのです。コストコに行くときのように。そして、駐車場が必要な時。そして、エワビーチのどこにも駐車したくありません。誰かに言われたことですが、私はそれが真実だと思うのが、島のコストコ・イウィレイは、世界で最も混雑したコストコです。皆さん同じことを聞いたことがありますか？はい。これってどう？とにかく、脱線しました。説教に戻りましょう、まだ途中です。今では私は運転

中に、車の中で目を開けて、継続的に祈っています。5時のHIで、忍耐、愛、優しさと寛容をもって。クリスマスのために、私たちは木製の額を1つ手に入れました。キッチンにあります。とても良いです。「私は午後5時にHIに乗り、西に行くだろうーあなたのために」と書いてあります。さて、オンライン教会の方は、「どういうこと？」となっているでしょう。私はいつも主と話すことができます。ある時、私は自宅のオフィスにいました。私はそれが運動感覚のことであるかどうか分かりませんが、私の言っていることが正しいことを願いますが、どこかに移動して話す必要があって、だから、主との私の最高の祈りの時間は、私がただ歩きながら、話し、語っている時です。「ねえ、主よ。」「そうそう、そうです、主よ。」「ああ、主よ、ありがとう。私に思い出させてくれてありがとう。」「おお、それはとても良いです、主よ。」「ああ、私はあなたをとても愛しています。」そして、私は大声で話しています。その時、私の娘が現れてこう言うのです。「自分に話しているの?」「違う」と言いました。ところで、公共の場ではそうしないで下さいね。あなたはどこかへ連れて行かれますから。私はいつも彼と話すことができますし、大声で言う必要もありません。彼は私の心を読むことができます。私がある状況の中にいる時があって、そして、それはある種、激しい状況です。私は、「ああ、なんということか！私は何をすべきですか?」そして私はこう言います。「主よ、私はあなたが今、私の心を読むことができると思っています。」「私は本当に助けが必要です。私はあなたの知恵が必要です。」「私は何を言うべきか、何をすべきかを知る必要があります。」つまり、私はいつも彼と話しています。それが、絶えず祈ることです。それはある人がこう言ったように、「あなたは神と絶えず意識的な交わりを持っている。」交わり、聖餐、コミュニケー

ション。「あなたはいつも彼と話していて、」「そして、彼は常にあなたと話しておられます。」これが、絶えず祈ることなのです。これをどうやって言えば良いでしょうか…？皆さんを困らせたくはありません。たぶん困らせると思うので、言ってみただけです。私は皆さんに挑戦したい。私は皆さんに挑戦したい。あなたの祈りの生活に別の方法でアプローチしてください。今日から始めましょう。「祈らないといけない！」という様に思わないで下さい。祈る必要はありますが、まあ、それは本当です。あなたは祈る必要があります。しかし、神は私たちがその域に到達することを望んでおられると、私は本当に信じます。そこは、「私たちが祈るのを待ちきれない」場所。しばらく前のある夜に、私はとても疲れていたのを覚えています。私はただただ疲れていました。私は眠りに落ちようとしていると分かっている、私はこう言いました。「主よ、明日まで待ちきれません。…私は今とても疲れていて、またあなたと話ができる明日の朝まで待ちきれません。」わお…私が若いクリスチャンだったとき、これを知っていたら良かったのに。いつも、私が本当に良い決断をする時に、私が唯一、後悔する事とは、私がもっと早くそれをしなかったことです。ところで、それは意図的です。これは私たちが祈りと呼ぶもので、これは神と話すことです。これが祈りなのです。それは意図的でなければなりません。私が皆さんに挑戦したい課題は、あなたの祈りの生活を、祈りの行動ではなく、祈りの姿勢として見て下さい。そして、何が起こるかを見て下さい。私はあなたに約束します。あなたに約束します。それはあなたの人生を変えるでしょう。あなたは決して振り返りたくなくなるでしょう。今朝、私は祈りの集まりに参加しました。第一礼拝の前に祈り会があります。私は頭で考えていました。「わお、主よ、私たちは本当に良い関係を持っていますよね？」私

が誰かと話していたか、誰かについて話していたと思うでしょう？違います。私は主と話しています。私たちは素晴らしい関係を持っています。素晴らしい関係のしるしは何ですか？良いコミュニケーションがあるとき。私はまるで、「主よ、私たちは素晴らしい関係です。」なぜなら、私たちは常にコミュニケーションを取っているから。私はいつも彼に話をしています。私はそれができない自分の人生を想像することはできません。つまり、正直になりましょう。特別な人生の状況になると、つまり、「あなたはどうするつもりですか？」でしょう？すごく嬉しくないですか？こんな風に言いませんか。ノンクリスチャンは何をしますか？「ああ、彼らが何をするか教えてあげる。彼らが何をするかというと、彼らは瓶へと向かう。」薬の瓶、またはアルコールの瓶へと。彼らは何かに、または誰かのもとへ行くでしょう。つまり、私たちに主がいなかったら、一体どうするでしょう？使徒パウロはここでテサロニケ人へ書いたことをローマ 12 章で繰り返しています。ところで、すばらしい章です。実際、ローマ書全体が素晴らしいのですが。私たちは何年も前にローマ書に取り組んでいた時、私たちは約 2 年半の間、ローマ書をやっていたと思います。そして、私たちは毎日それがすべてでした。ローマ 12 章 12 節、覚えやすい節です。パウロの言うことを聞いてください。「望みを抱いて喜び、苦難に耐え、ひたすら祈りなさい。」言うなれば、”ピック 3”です。これは、18 節にある 3 番目のものに繋がります。それは、いつも感謝することです。この上なく喜び、絶えず祈り、いつも感謝することこれらは、共存するのです。私がこのように言うことが出来るなら、それは 3 つの命題です。さて、パウロがここで言っていないことに気づくことが重要です。彼はすべての状況に感謝しなさいとは言っていません。彼はこう言っています。「すべての状況に

おいて感謝しなさい。」さて、なぜそれが重要なのですか？なぜなら、私たちはすべてのことに対して神に感謝するわけではありません。「神様、この折れた腕を感謝します。」「このパンクしたタイヤを感謝します。」いいえ。私たちは、すべてのことにおいて、神がすべての事を共に働かせて、益として下さることに感謝するのです。それが私たちが神に感謝するものです。「ああ、神様、本当に感謝します。」主よ、本当にありがとう。福音書の中で興味深いことを知っていますか。イエスは、感謝している人に注意を払われました。彼が10人のツァラアトを癒すときの箇所を覚えていますか？ハンセン病、それは死の宣告でした。つまり…皆さん、私がコロナウイルスと言ったと思いますね、それは預言アップデートで、それについてお話しします。…誰もあなたの周りにいないのです。そして、イエスは彼らの周りにおられるだけでなく、彼らを癒されるのです。そして、唯一一人だけ、それもユダヤ人でもなかった人が、たった一人だけが戻って来て、「主よ、感謝します。」そして、イエスはそれを指摘されます。それは明らかに、主にとってとても重要でした。それは聖書の聖典に含まれるレベルにまで上げられたのです。私たち全員のために記録されるために。後の世代のすべての人のために。

「他の9人はどこにいますか？」(ルカ 17:17)

彼はそれを指摘されます。彼はそこに目を留められます。私はこれらの用語のようなものを見てみましょう。親や祖父母としてはどうですか？あなたの子どもがあなたに感謝しているとき、それはあなたの心を祝福しませんか？なんということでしょう。それは…あなたはただ…私はカリフォルニアの大学にいる息子のリーヴァイに話しました。彼はとてもクールな子で、彼は本当に感謝の心がある子です。そして、彼は

いつも私に感謝します。「ありがとう、パパ。ありがとう、パパ」そして、私は「リーヴァイ、もう耐えられない!」「私の王国の半分まで!あなたが望むものは何でもあげる!」もしかしたら、それが理由で彼はそう言うのかもしれませんが。分かりませんが。一違いますよ。しかし、彼はとても感謝します。彼はとても感謝しているのです。なので…もう少しご辛抱ください。今朝私は起きて、心の準備をして、この教えを準備しました。私はこう言いました。「主よ、」「どうすれば…」なぜなら、大きな疑問は「どうすれば」ですよ?つまり、私たちは広いスケールで知っています。聖霊の「方法/どうすれば」が私たちを可能にし、聖なる言葉が示す「こと」を行う力を与えられるのか。そうですね?それに同意できますよね。しかし、私は具体的に知りたいのです。どうすればもっと感謝できるのか?どうすればもっと感謝の心を持てるのか?どうすればもっと喜び溢れるのか?どうすればもっと祈ることができるのか?どうすれば??つまり、私はそれをしたいのです。…この礼拝にいる誰かがこう言うのを想像できません。「私はもっと祈るようになりたくない。」「私はもっと喜び溢れたくない。」「私はもっと感謝したくない。」そんな人いますか?もしそうなら、後であなたと話してもいいですか?だから、「どうやって?」私たちはどのようにしてこの感謝の態度を持つことができるのでしょうか?どうすれば…「…私には変化が必要です。私はマンネリ状態です。」「…私は形だけやっているだけです。」「私には喜びがありません。」「私はそれが実現するまで、ふりをしようとしている。でもそれは上手く行きません。」それは喜びについてなので、あなたは喜びを偽ることはできません。つまり、あなたは喜びが本物であるかどうかを知っています。「…私は牧師が話している祈りの人生を送りたい。」「私はそれをしたい。」「もっと感謝したい。」「もっと喜

び溢れたい。」どうすれば？どうやって？？さて、感謝することは、喜びと祈りの両方から生まれます。チャールズ・スポルジョンが言ったことを聞いてください。これは本当に良いです。彼はこう言いました。「喜びと祈りが結婚するとき、彼らの最初の子どもは感謝の心だ。」もう一度読んでもいいですか？ダメですか？私はもう一度読みますが。「喜びと祈りが結婚したとき、彼らの最初の子どもは感謝の心だ。」これはパウロがピリピ人を書いたものです。それは私の一番のお気に入りの人生の御言葉の一つです。私は聖書のすべての箇所についてこう言っているのは分かっています。しかし、実際にピリピ4章6節から8節は、しかし、6節と7節では、基本的に「これがあなたの人生を変える方法だ」と言っています。これはあなたの人生のすべての不安の治療法です。すべての恐怖、心配のすべての。これはあなたの人生を変えることができます。彼の言うことを聞いてください。

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に感謝をもって捧げる祈りと願いによって、…
ああ、ここでパターンが分かりますか？

…あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」(ピリピ4:6)

「そうすれば、すべての理解を越えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」(ピリピ4:7)

私たちがここで言っている私たちが持っているものを知っていますか？私はただ平安な思いが必要です。心の平安。これは、イエスが仰った、平安の一つです。

「私を与えるのは、世が与えるものではない。」(ヨハネ14:27)

この平安は、状況や状態に依存していません。理解できた今、心の平安が欲しいですか？「今、私は理解したから、私は心の平安を持つことができる！」いえいえ、違い

ます。パウロがここで言っていることは、あなたが理解せずに平安を持つことができるということです。「自分の悟りに頼るな」箴言 3 章 5 節から 6 節。「どうやって？」

ああ、尋ねてくださりとてもうれしいです。すべてのことについて祈り、あなたが考えうるあらゆることを神に感謝することによって。ああ、ところで、試してみてください。ただ神に感謝する…私は祈りの日記を付けています。実際、先週ちょうど…私は私が書くことよりもはるかにタイプする方が得意です。私はタイピングを選びました。若い人たちには見当がつかないことは分かっています。それは実際、公平ではありません。私はあなたたちがメッセージするのを見ていると、親指が機械です…私はこんな感じです。娘は私に「指を使わないで」と言い続けています。私はタイピングしたいので…タイピングを取得したので、実際に入力できるのです。私の問題の十分です。ポイントに戻りましょう。そして、私にはポイントがあります。なので、私はタイピングして、私の祈りのリストに入力していました。そして、私は考えつくすべてのことをただ神に感謝し始めました。そして次に私が気づいたのは、私は 2 ページほど進んでいたのです。私が考えるよりもたくさんの方がいました。そして、「これをありがとう」「ああ、あのことに感謝します。」「このことに感謝します。あのことに感謝します。」私が終わった頃には?なんということでしょう。つまり、私は非常に幸せな気分でした。ネヘミヤ 8 : 10 が言っている、「主を喜ぶことは、あなたがたの力だからだ。」私はとても力づけられ、励まされました。非常に喜びに満ち溢れ、非常に感謝で溢れていた。とても感謝で溢れ、喜びで溢れる。そしてそれは、祈り続けることによって来ました。これらすべてがどのように共に働くか分かりますか? さて、明日の朝には、これはどうでしょう。地獄の目覚まし時計を止めて、私が起きな

ければならないとき。これはどのように機能するでしょうか？これは私の人生ではどのように見えるでしょうか？だから、月曜日が始まり、そして、それはあなたが頭の中でこう考える一日で、「ああ、寝るところからやり直せたらいいのに…」「今日はひどい一日だ。」そうなる必要はありません。「朝早く、私は立ち上がって、あなたを求めます。」主と一緒に時間を過ごしてください。1時間である必要はありません。人々は、「私には時間がない！」と言います。「祈る時間がない！」あなたには祈らない時間などありません。繰り返しますが、どうかそれを複雑にしないでください。「祈りに30分は費やさないといけない！」などと言ってはいけません。そんなことしないで下さい！想像できますか？あなたの子どもがあなたの元に来て、こう言うのが。「ああ、私はあなたと30分過ごさないといけない！」どうぞお構いなく。やらなきゃいけない？いいえ、私はそうしたいのです。私は待ちきれません。「主よ、私は一日をあなたと一緒に始めたい。」そしてあなたがそうする時、あなたは一日の真っ只中、激しい戦いの中にいてつまり、壁にぶち当たります。そうですね？そしてあなたは「分かりました、主よ…」と始めます。「まず、第一に、私はあなたの元にこのことを持って行きます。」「それは私に対処できる範囲を超えている状況です。」「だから、私はただあなたにそれを委ねます。」「そして、主よ、私ができることに感謝します。」そこから始めましょう。「私はあなたにこの状況を委ねることができると感謝します。」「主よ、ここで私を助けてください。」「私には助けが必要です。」「それとも、これを解決していただけますか？」「これに対する知恵と理解を私に与えて下さい。」彼はなさいます。彼はしていただけます。そして、あなたが次に知るのは、この平安を得ることです。つまり、すべてが混沌とした、激動、争いと逆境…しかし、この平

安、この喜びとこの穏やかさがあるのです。神がこれを持っておられます。「私は彼にそれをお願いし、自分でしませんでした。」私はよくそうしていました。主にそれをお願いしているのに、それを取り戻すと、それについて心配し始めます。いいえ、私は彼にそれを任せます。「それはあなたのものです。」「主よ、あなたがこれに対処してください。」「これが、あなたが私に求める時だね。」「私は、あなたが私にそれを任せるのを待っていたよ。そうすれば私が対処できるのだから。」私たちは「神は不可能をなさる神」と言います。時に、神はそれを不可能にする必要があられないのだと思います。だから、彼はそれをなされるのです。なぜなら、それがまだ私たちにとって可能なのであれば？…彼はこの状況の中に、無理に入っては来られません。だから私たちはやろうとして…「よし、私は自力でやり遂げる！そして、終わらせるのだ。」やり遂げる…そうですね？…私は神がただこう仰っているのが思い浮かびます。

「OK、分かった。私に知らせてくれ。」「私はここにいるから。」「あなたが125回目に”自分の意志の壁”にぶち当たって潰れたら。だってあなたはとても頭が固いから。」私は自分自身に語っています。「あなたがたは自分が何者であるか分かっているか？あなたは頭が固く、うなじ固く、頑固な人々。」そうですね？「だから、私に知らせなさい。」「なぜなら、あなたがやり終えて、手を上げてこう言う時…」「神よ、これは不可能です！」「おお、良し。」「それはあなたにとっては不可能なら、今、私にとっては可能だ。」「私がこれをやっても良いかい？」—「分かりました、これを取ってください！」「まあ、あなたはそれをかなり混乱させたね。」「もっと早く持ってきてくれたら良かったのに。」

祈りしましょう。

天のお父様、感謝します。あなたの喜びに感謝します。あなたの平安をありがとうございます。
ざいます。私たちへのあなたの恵み、あなたの憐み、あなたの愛、あなたの優しさに
感謝し、あなたの思いやり、あなたの寛容、あなたの忍耐に感謝します。主よ。私た
ちには、あなたに感謝することがたくさんあります。主よ、あなたにただ感謝するこ
とで私たちの生活をすべて、完全に、全く変えることができることに感謝します。そ
して、私は説教の終わりにこの事を祈ります。聖霊が祈りを次のレベルに引き上げて
下さるように。主よ、聖霊がそうしてくださることに感謝します。

イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 Rumiko